

第50回 飛騨地区陸上競技選手権大会

第3回 飛騨地区陸上スポーツ少年団記録会

- 1 主催 ・飛騨地区陸上競技協会
- 2 期日 ・飛騨地区陸上スポーツ少年団記録会
 時刻 平成30年9月1日(土) 12時30分競技開始 16時30分終了(予定)
 雨天決行
- ・飛騨選手権大会
 平成30年9月1日(土) 12時30分競技開始 雨天決行
 2日(日) 9時競技開始 雨天決行
- 3 会場 ・中山公園陸上競技場 (高山市山田町690)

4 種目

飛騨地区陸上スポーツ少年団記録会 9月1日(土)

種別	男子	女子
スポ少 4・5・6年	50m(1・2年)100m(3~6年)800m 80mH(5・6年) 4×100mR 走高跳(5・6年) 走幅跳 ジャベリックボール投	50m(1・2年)100m(3~6年)800m 80mH(5・6年) 4×100mR 走高跳(5・6年) 走幅跳 ジャベリックボール投

1・2年生は50mのみ、3年生は100mのみ出場可。50mは学年を区分しない。

飛騨選手権大会 9月1日(土), 2日(日)

日	種別	男子	女子
1	高校一般	3000mSC(高校・一般)	
2	中学 高校 一般	100m 200m 400m 800m 1500m 5000m(高校・一般) 110mH(107cm 高校・一般) 400mH(高校・一般) 4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳(高校・一般) 砲丸投(7.260kg 高校・一般) 円盤投(2kg 高校・一般) やり投(800g 高校・一般) ハンマー投(7.260kg 高校・一般)	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mH(86cm 高校・一般) 400mH(高校・一般) 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(4kg) 円盤投(1kg 高校・一般) やり投(600g 高校・一般)

5 参加資格 *飛騨選手権大会

- ・飛騨地区に在職在住で本協会並びに岐阜陸協登録の一般、高校生、中学生とする。
- ・飛騨地区の高校出身で本協会並びに岐阜陸協登録の大学生の参加を認める。

- *飛騨地区陸上スポーツ少年団記録会
- ・本協会登録スポーツ少年団員とする。

- 6 出場制限 ・出場制限はなし。
但し、スポーツ少年団員は一人2種目以内とする。(リレー別。1年生～3年生は一人2種目。)
- 7 参加料 ・1種目につき、一般＝900円 高校生＝700円 中学生＝600円
スポーツ少年団員＝400円
・指定口座(P47参照)へ振込むこと。
- 8 申込方法 ・平成30年8月8日(水)PM5時までに必着を厳守すること。
・飛騨陸協HPから岐阜陸協会HP「大会スケジュール」に入り競技会申込ファイルをダウンロードし、必要事項を入力してアップロードする。
・申込ファイルの入力やアップロードは、HP掲載の注意事項に従って行うこと。
・〒506-0032 高山市千島町291 高山工業高校内 家垣政徳へ一覧表と参加料振込の控え(コピー可)を送付すること。
・一覧表に記入漏れのないようにし、必ず責任者が点検の上提出すること。
一覧表は男女別にし、学年をそろえること。
・参加料の届かない場合や補助員又は補助役員の記入のない場合等は、申込不備として受け付けない。
- 9 記録証 ・スポーツ少年団員には、記録証を授与する。
- 10 諸連絡 ①出場者は、前日までに健康診断を受けておくこと。
②スポーツ傷害保険の適用者は競技者・審判員・審判役員である。適用時間は会場までの往復及び競技時間とする。詳細は協会(総務)へ尋ねること。
③ナンバーカードは、岐阜陸協指定の規格のものとし、平成30年度岐阜陸協登録番号を使用すること。
④ナンバーカードを胸・背につけない者は、出場できない。但し、跳躍種目出場者は胸又は背のみでよい。
⑤申込ファイルには、最近の自己記録を必ず入力すること。
⑥スパイクは、8mm以下のピンを使用すること。但し、走高跳・やり投出場者は、11mm以下のピンとする。
スポーツ少年団員のスパイク使用を認める。但し、800mは使用できない。
⑦投てき種目・ハードル種目は、すべて一般の重さ・高さで競技を行うので、中・高校生は、留意すること。
⑧フィールド種目に下記のような計測ラインを設けることもある。

【計測ライン】 (走高跳は最初の高さ)

	走幅跳	三段跳	走高跳	砲丸投	円盤投	やり投
男子	5m00	11m00	1m50	7m00	18m00	25m00
女子	4m00		1m20	6m00	15m00	18m00

⑨補助員（生徒）は、中・高校生参加者が

7名以下・・・・・・・・1名

8～14名・・・・・・・・2名

15～20名・・・・・・・・3名

21名以上・・・・・・・・4名

できる限り選手を兼ねない者で選出し、申込書に記入すること。

補助役員（保護者）はスポーツ少年団員の参加者が

11～20名・・・・・・・・2名

21～29名・・・・・・・・3名

30～39名・・・・・・・・4名

40～49名・・・・・・・・5名

50名以上・・・・・・・・6名

育成会等から補助役員（保護者）を選出し、スポーツ傷害保険に加入する関係から、必ず申込書に氏名を記入すること。但し、公認審判員は選出しないこと。

⑩補助役員（保護者）には、主催者で弁当を準備する。但し、2日のみ。

⑪警報発令の時は状況により中止する場合がある。その際参加料は返金しない。

⑫1日（土）午前11時より競技場の準備を行うので、高山市内のスポーツ少年団は各2名、その他の地域のスポーツ少年団は各1名の協力をお願いします。